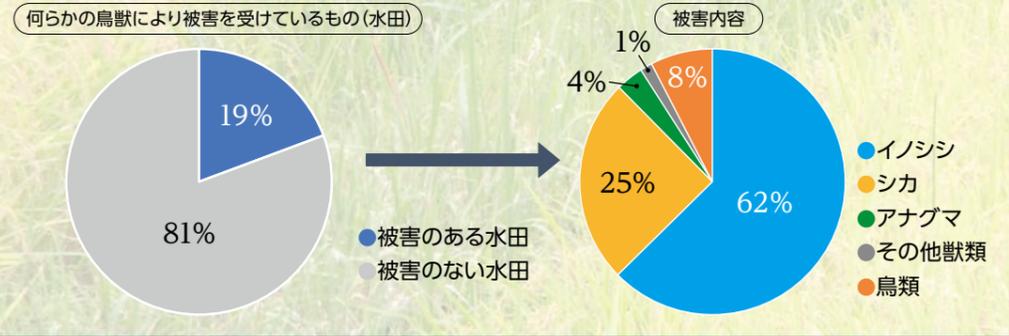




※写真(合) 南九州野生動物保護管理センター提供



令和3年度鳥獣被害アンケート結果 ●対象調査期間(令和2年8月~令和3年8月末)



皆さんは、本市の農林産物に対し、鳥獣被害をどのくらい受けているか知っていますか？
令和3年度における本市での鳥獣被害に関するアンケート結果を入手しました。

鳥獣被害防止対策

3つの柱

- ① 寄せ付けない
- ② 侵入を防止する
- ③ 個体数を減らす

調べてみると、このような鳥獣による農林産物への被害を防ぐため、基本として3つの柱を立てて防止していこうという取り組みがあるみたいです。

特にイノシシ、シカが田畑へ侵入し、あぜを掘り起こしたり崩したりすることで、農林産物の収穫量が減るなどの被害が深刻化していることが分かります。
また、イノシシ、シカ、サルやカラスなどの鳥獣による被害は依然として増える一方だそうです。
でもこれってどうやってたら被害が減らせるの？
今回は、鳥獣被害について考えてみよう！

鳥獣被害は農家だけの問題ではない？ 私たちにもできることは？

被害防止の3つの柱っていったいどういうことなんだろう？ 具体的に私たちは何をしなきゃいけないの？
詳しい中身を見ていきたいと思えます。

①「寄せ付けない」ための取り組み

被害が増加する最大の要因は、人による「餌付け」なんだとか。
鳥獣被害は農家だけの問題ではありません。私たちが知らず知らずのうちにやっている行為が、鳥獣を呼び寄せてしまっている可能性があります。家や庭の手入れを放棄していたらいつの間にかそこが鳥獣たちの絶好の隠れ場所になってしまっているかもしれません。周りに使っていない物や放置した果樹などあれば、隠れ家や餌を求めて鳥獣たちがやってきます。
普段の行動を再度見直すことが寄せ付けないための第一歩です。

重要ポイント
・収穫しない野菜や果物を放置しない。
・収穫せず放置している果樹(柿やミカンなど)は伐採する。
※有害鳥獣に餌場を提供しないこと、人間は怖い生き物としつかり認識させることが非常に重要です。

みんなで協力し合い、鳥獣被害を減らそう

今まで「鳥獣は捕獲してもらえから大丈夫」「柵を取り付けたから安心」「収穫できない傷んだ野菜はここに捨ててしまおう」そう考えていませんでしたか？
鳥獣被害をなくすためには、みんなが一体となり、①寄せ付けない②侵入を防止する③個体数を減らすの3つの柱を中心に対策に努めていくことが重要です。

本市の活動の一環として鳥獣被害防止対策推進研修会や出前講座などを開催し、有害鳥獣の生態について理解を深める活動も行っているそうなので参加してみるのもいいかもしれませんね。
鳥獣被害防止の3つの柱を正しく理解し、鳥獣被害のない環境づくりに取り組んでいきましょう。



皆さんが知りたいことや紹介したいことなどがありましたら、情報をお寄せください。

問合せ／本庁秘書広報課
企画総務・広聴広報G(内線4122)

②「侵入を防止する」ための取り組み

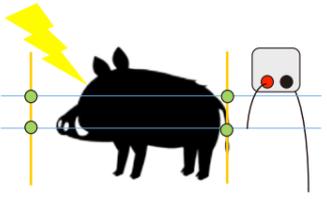
有害鳥獣は臆病な性質を持っていて、人を恐れます。山林や耕作放棄地に身を隠すなど、意外と私たちの近くにいる場合もあります。農地の周りがうっそうとして見通しが効かなくなると、ますます鳥獣たちの隠れ場所を作ってしまうことになり、山林に接する農地では、見通しを良くすることで鳥獣が身を隠す場所がなくなり、侵入をしづらくすることができ、「緩衝帯」を設けるのが◎。



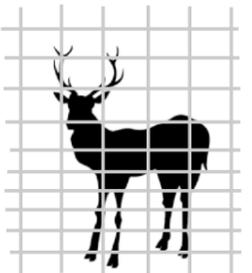
防護柵などの利用

防護柵を設置することは、一つの良い手段です。しかし、防護柵などを設置しても、管理を怠れば、被害を防ぐことはできません。正しい設置方法と運用・管理をすることが非常に重要です。

電気柵
▼長所 安価、設置が簡単
▼短所 定期的な草刈りが必要



ワイヤーメッシュ柵
▼長所 農地を囲うことで高い効果が得られる
▼短所 高価、設置が重労働など



重要ポイント (電気柵設置・運用について)

- ・通電性の良い場所に設置。
- ・漏電防止のため、定期的な草刈りを行い、整備や点検を行う。
- ・可能な限り、24時間365日設置しておく事が効果的です。
- ・注意喚起の表示板の設置が義務付けられていますので、必ず設置しましょう。
- ・家庭用電源からの直結は非常に危険です。必ず専用機器(電気柵)を使用してください。

③「個体数を減らす」ための取り組み

猟銃やわなによる駆除を実施

農林産物などの被害拡大を防ぐため、地域猟友会の協力を得て、駆除を実施しています。



重要ポイント

- ・早期に捕獲することが大切。
- ・見かけたらすぐに市役所農業政策課農政G(内線4223)へご相談ください。

